

# 藝 振

## も く じ

“県民の文化祭”の新たな一步に .....	1
第7回大分県民芸術文化祭開幕行事 .....	2～3
これから開催される補助事業等 .....	4
加盟団体活動紹介 .....	5
新役員紹介 .....	6
お知らせ .....	7
事務局だより .....	8



大分県芸術文化振興会議

No.118

平成17.10

発行人：脇 正人 編集人：安藤啓生 発行所：大分県民芸術文化振興会議事務局



## “県民の文化祭”の新たな一步に

大分県民芸術文化祭実行委員会会長  
大分県芸術文化振興会議会長

脇 正 人

今年、第7回大分県民芸術文化祭が私ども大分県芸術文化振興会議を主体とする民間団体の運営でここに開催の運びとなりました。このたびの開催にあたり多大なご支援、ご尽力を賜りました大分県はじめ、関係者の皆様方に厚くお礼を申し上げます。

さて、大分県民芸術文化祭は大分県芸術祭の時代から多くの加盟会員の皆さんが参加、中心となって開催をして参りました。今年も10月、11月の文化祭期間中、加盟団体はじめ多くの皆さんが参加して文化祭が開催されています。

今回は9月25日iichikoグランシアタにおいて、初めてこどもたちが主役となった開幕行事、おおいたこどもフェスタ「MIKEのたび出発」で、幕を開けました。演劇、洋舞踊、日本舞踊、民謡踊、合唱、吹奏楽など、多岐にわたる分野で活動をしている大分のこどもたち約400名が参加した舞台は、準備から本番まで各方面からの温かい声援に励まされ素晴らしい舞台となりました。

このように大分県の秋の文化行事として親しまれてきた文化祭に、このたび私ども大分県芸術文化振興会議が、事務局を引き受けるという形で開催に関わっていくことになりました。県内で第一の文化団体の集合体として、県内の文化活動に貢献するまたとない機会を頂きましたことを心より嬉しく思っております。

また、同時にこのような重責を担うにあたり、私どもへの期待の大きさに今改めて大分県芸術文化振興会議を見つめ直すとき、これまでの芸振が培ってきた実績に恥じぬ活動をこれからの未来へ向け広げていくためにも、今後はさらに多くの皆さんに親しんで頂ける団体に成長していくことが望まれていると考えます。

これまでも役員会、組織検討委員会等で本会議の役割について議論を重ねてきました。現在、法人化準備委員会ではこれらを踏まえ、法人化に向けての準備を進めており、今までにない変革に敢えて取り組まなければならないと考えております。

今年新しい一步を踏み出した大分県民芸術文化祭、新たな飛躍をしようとする大分県芸術文化振興会議が、この舞台のように多くの皆さんに愛される文化祭、そして文化団体となるよう努めて参りたいと存じます。



史子

長岡史子（県美協会員）

## 第7回大分県民芸術文化祭開幕行事



### 「おおいたこどもフェスタ」の公演を終えて

おおいたこどもフェスタ  
実行委員長 辛島光義

第7回を迎えた大分県民芸術文化祭の開幕行事「おおいたこどもフェスタ」は、大分の文化活動の明日を担う若者、特に小中学生の活動に焦点を当てた企画で、子どもたちが終始主役の舞台は、過去に例を見ない斬新な取り組みでした。これは子どもたちが個々に繰り広げている文化活動の統合的発表の場であり、近い将来の大分における文化活動の担い手の育成として大変意義深いことであったと考えております。

内容は、演劇、合唱、吹奏楽、舞踊、民謡、民踊の多岐に亘る分野で構成された創作舞台で、演劇の進行の中に音楽や踊りを挿入するという企画でまとまりました。

創作劇は、竹田出身の童謡作家・佐藤義美の代表作「犬のおまわりさん」を題材とし、迷子の子猫MIKEが大分県を代表する動物・高崎山の猿、豊後の黒牛や犬などの協力で県内各地を母を捜し求めて旅するという物語で、脚本は竹田市の安東達夫先生がこの舞台のために書き下ろして下さいました。

演出は、大分市出身で声楽家・オペラ演出家として全国的に活躍されている工藤智昭先生にお願いしました。

舞台を彩る子どもたちは、初めのうちこそぎこちない動きで多少の不安を覚えました。夏休み返上で頑張った練習の成果や完成度を見守るとき、子どもたちの前向きな姿勢は無限の可能性を秘め、日ごとに成長する演技や演奏は素晴らしい舞台の創造へと開花し、多くの観客に感動を与えたことと確信しています。

今回舞台を務めた子どもたちは、貴重な経験を得て、文化活動を続けていく上で貴重な財産を身に付けました。この経験を活かし、近い将来の大分県の文化創造者として成長してくれることを心から願っています。

最後になりましたが、舞台のこどもたちを支えて下さいました多くの関係者の皆様方へ感謝とお礼を申し上げて報告とします。



おおいたこどもフェスタ「MIKEの<sup>なび</sup>出発」 H17.9.25 グランシアタ



## 県民手作りのオペラ『カルメン』を

大分オペラアンサンブル

代表 阿部 容子

みなさま、こんにちは。大分オペラアンサンブルは今回、第7回大分県民芸術文化祭閉幕行事として、オペラ『カルメン』（演奏会形式・日本語上演）を行います。このオペラ『カルメン』はフランスの作曲家ビゼーが作った最後の作品で、世界で最も人気の高いオペラの一つです。なぜこのように人々に親しまれているのか…。それは、やはり緊張感あふれるビゼーの楽曲の素晴らしさと、奔放で情熱的なヒロインの魅力でしょう。

今回のオペラ制作にあたっては、キャストや合唱団を含めてすべて大分県に関係した人達で作り上げていこうという思いがありました。主役のカルメンを演じる上田雅美さんやミカエラ役の吉原恵子さんをはじめ、ソリストは県内在住で活躍をしている声楽家です。ホセ役の行天祥晃さんは、県立芸術文化短期大学専任講師であり、東京二期会でも活躍しているテノールです。エスカミリオ役の安藤常光さん（声楽家・東京二期会）は大分県出身で、この日のために参加を快諾してくださいました。このオペラを支える重要な役でもある合唱団は、昨年11月に公募を行い、80数名の方々が参加。児童合唱団も大分市立植田東中学校合唱部をはじめ、公募で参加した生徒・児童約40名らと共に総勢120名余で練習に励んで参りました。オーケストラは、芸短大出身のOBらで結成されたゼーレ管弦楽団により若さ溢れる音楽が期待でき、華やかな酒場の場面や間奏曲では、笠木啓子バレエ研究所のメンバーが先生直々の振付のもと、華麗な演技を披露してくださいます。

そして、このオペラ全体を統括する指揮者に、新進気鋭で活躍をされている船橋洋介先生をお迎えしました。

演奏会形式で反響板を使用するため、大掛かりな舞台道具は使用しませんが、質の高い演奏を心がけて練習に取り組んできました。どうぞ県民による手作りのオペラを是非ご覧ください。



児童合唱団の練習風景

# H17.10～H18.3月開催の補助事業

実施時期	事業名	会場	主催団体
10月9日	第45回大分県三曲協会定期演奏会	大分市コンパルホール	大分県三曲協会
10月21日	第34回「グループUNO」コンサート	音の泉ホール	グループUNO
10月22日	大分県民オペラブレ40周年記念「名作オペラコンサート」	大分県立芸術会館	大分県県民オペラ協会
10月23日	第36回関心流日本興道吟詩会大分県本部吟詩大会	別府市翠山荘	関心流日本興道吟詩会大分県本部
10月26～30日	第50回記念蒼土展	大分県立芸術会館	蒼土会
10月29・30日	第47回臼杵市秋の文化祭	臼杵市民会館他	臼杵市文化連盟
10月30日	大分県太鼓連合チャリティコンサート	はさま未来館	大分県太鼓連合
10月	「子どもが豊かに育つ文化芸術のまちづくり」講演とワークショップ	県内4カ所程度	大分県子ども劇場連絡会
11月2～7日	第14回キルトinおおいた	アートプラザ	おおいたパッチワークキルト協会
11月3～20日	第35回国東町総合文化祭	アストくにさき [くにさき総合文化センター]	国東町文化協会
11月6日	第42回大分県児童文化祭	はさま未来館	大分県児童文化研究会
11月11～13日	第42回山香町総合文化祭	山香町中央公民館他	山香町文化連盟
11月17～23日	第28回大分県俳画作品展	レインボービル	大分県俳画協会
11月20日	大分交響楽団第29回定期演奏会	グランシアタ	大分交響楽団
11月29日～12月4日	第35回大分県日本画展	大分県立芸術会館	大分県日本画協会
11月29日～12月4日	第14回創元会大分支部展	大分県立芸術会館	創元会大分支部
12月6～11日	第20回記念新潮流展	大分県立芸術会館	新潮流の会
12月18日	萬謡會創立50周年記念公演「ふる里のうたを求めて」	iichikoグランシアタ	大分県民謡研究会 萬謡會
12月18日	第13回音楽祭	大分県立芸術会館	大分県音楽団体協議会
12月25日	第31回大分県吹奏楽アンサンブルコンテスト	音の泉ホール	大分県吹奏楽連盟
平成18年1月24～29日	水彩連盟大分支部展	アートプラザ	水彩連盟大分支部
平成18年2月11日	大分県庁職員吹奏楽団創立55周年記念演奏会	iichiko音の泉ホール	大分県庁職員吹奏楽団
平成18年3月	ジュニアコーラス定期演奏会	NHKスタジオホールキャンパス	大分ジュニアコーラス

詳しくは主催団体におたずねください。

## 第7回大分県民芸術文化祭

文化祭行事については各加盟団体に別途総合プログラムをお送りしておりますが、プログラム作成後追加された参加行事をお知らせします。

部門	開催日時	行事の名称	開催場所	主催団体
児童文化	11月3日(木)	豊の国情報ライブラリー文化講演会	大分県立図書館	大分県立図書館
児童文化	11月6日(日)	子ども文庫・読み聞かせグループ交流会	大分県立図書館	大分県立図書館
能楽	11月19日(土)	萬狂言大分定例公演～舞歌づくし～	大分市平和市民公園能楽堂	NPO法人ACT・JT 豊の国まちづくり狂言会事務局
演劇	11月17日(木)	三途川原夢浮舟～出雲阿国最期一瞬～	大分市平和市民公園能楽堂	出雲阿国公演大分実行委員会
音楽・舞踊	10月23日(日)	琴音会秋の会	豊の国健康ランド	琴音会
音楽	11月4日(金)	第8回海外支援・留学生支援 チャリティーコンサート	iichiko総合文化センター-iichiko音の泉ホール	チャリティーコンサート実行委員会
音楽	10月31日(月)	押尾コータローコンサート	iichiko総合文化センター-iichiko音の泉ホール	大分市
能楽	11月5日(土)	能楽の祭典	大分市平和市民公園能楽堂	大分市
演劇	11月16日(水)	ギンギラ太陽'S 公演	大分市コンパルホール	大分市
舞踊	11月12日(土)	麻生神楽ライブonステージ2005	宇佐相撲場	宇佐市選択無形民俗文化財 郷土芸能保存会 麻生神楽
音楽	12月6日(火)	TAO体感コンサート	くじゅうサンホール	竹田市久住中央公民館
その他	11月5日(土) ～11月6日(日)	うすき竹育	臼杵市二王座及び中心市街地	第9回うすき竹育実行委員会
音楽	10月29日(土)	うすき節句まつり(重陽)	旧臼杵藩主稲葉家下屋敷	臼杵市
音楽	11月29日(火)	ジャン・ジェンホワ 二胡リサイタル	iichiko総合文化センター-iichiko音の泉ホール	株式会社 Gakuon
映画放送	10月14日(金) ～10月16日(日)	PFF in 大分 (びあフィルムフェスティバルin大分)	iichiko総合文化センター-iichikoスペースビー	PFF in 大分 実行委員会
舞踊	9月9日(金) ～9月11日(日)	「少しずつ自由になるために ～岩下徹ダンスワークショップ」	iichiko総合文化センター-iichikoスペースビー	「踊りに行くぜ!」大分実行委員会
音楽	11月3日(祝)	STAR LIGHT STAGE	ブリックブロック	FTTアクターズスタジオ
音楽	10月30日(日)	ハンドベルコンサート	別府溝部学園短期大学ホール	別府溝部学園短期大学ハンドベルリングズ
美術	10月1日(土) ～12月4日(日)	江藤純平回顧展～あふれる清新の気～	中国陶瓷美術館	中国陶瓷美術館
その他	10月16日(日)	第21回大分方言まるだし弁論大会	豊後高田市中央公民館	大分方言まるだし弁論大会実行委員会
音楽	10月23日(日)	関心流吟詩会大分県支部第36回吟詩大会	別府市翠山荘	関心流日本興道吟詩会大分県支部
演劇	12月22日(木)	広瀬久兵衛伝「三隈川悠々」	大分県立芸術会館	大分県民演劇制作協議会
その他	11月3日(祝)	第16回庄内神楽祭り	庄内町総合運動公園 神楽殿	庄内町



## 若い歌人の育成が課題

大分県歌人クラブ 会長 伊勢 方 信

大分県歌人協会（S21年創立）を前身とする大分県歌人クラブは、昭和36年8月会員数244人による新しい歩みを始め、現在の会員数は504人。県芸振には、昭和40年の創立と同時に加入し、この年第1回大分県芸術祭短歌コンクールを開催。県民芸術文化祭の時代に入って以後も継続され、今年が41回目です。

クラブの全事業は、業務理事会・理事会を経て、理事・代議員（23支部長・地区代表）による5月の定期総会によって決定。事業の柱は、1）に会員の資質向上を目的とするクラブ主催の短歌大会で、前述のコンクールの他5月に県短歌大会（51回）・7月に県短文学大会（46回）を開催。2）は広報活動で、年3回の会報により事業の周知や会員の出版物等を紹介。3）は歌壇の振興と発展を図るための後援事業で、今年度は宇佐神宮新年短歌大会・山香町短歌大会・大分西部短歌大会・くにさき弥生のムラ短歌大会・現代歌人集会春季大会in別府・NHK学園別府短歌大会・朱竹・歌帖・八雲の結社大会を後援しています。

クラブの事業は順調に経緯し、多くの成果を得ていますが、県歌壇の将来を見通すとき、会員の高齢化に伴う若い歌人の育成が課題であり、クラブをあげて、この解決への取り組みを始めたところです。



## 萬謠會創立50周年記念公演 「ふる里のうたを求めて」に向けて

大分県民謡研究会 萬謠會 会長 松 井 猛

萬謠會は昭和32年1月、初代家元池田萬龍師と板井南桜山師等によって発足。以来大分県民謡の普及発展を目指し活動を続け、昭和49年第1回「ふるさとのうた」を皮切りにその後、度々大分県民謡リサイタルを開いてきた。この度創立50周年記念「ふる里のうたを求めて」の公演を平成17年12月18日iichikoグランシアタにて開催。この舞台はふる里のうたを求めて半世紀に亘る活動の集大成。初期は、故加藤正人先生の発掘した民謡を発表する事が主流だったが、素朴すぎる唄の節に素朴な伴奏、一度は舞台上で発表したがり表に出なくなった県民謡も多い。二代目家元は20数年前からそのような曲を新たに編曲し、一曲一曲に新しい息吹を吹き込んできた。県民謡の素晴らしさを再認識して後世まで唄い継ごうと、私共は今懸命にリハーサルに取り組んでいる。第4部の企画構成民謡「初瀬川物語」は二代目家元池田萬穂の脚本で、初瀬井路（挾間町）にまつわる伝説を基に県民謡が織りなす詩情豊かな舞台を是非ご覧頂きたい。

# 新役員紹介

団体役員の異動等により新しく理事になりました方をご紹介します。



大分県美術協会(書道部会)  
戸口 勝山



大分県美術協会(日洋彫工部会)  
小川 善規



大分県音楽協会  
土谷 正公



大分県民オペラ協会  
永見 政子



大分県三曲協会  
二宮 霊山



大分県日本舞踊連盟  
藤間 次登



大分県高等学校文化連盟  
二宮 範明



大分県立芸術会館  
安部 陽子

## 平成17年度役員名簿

役職名	氏名	団体名	役職名	氏名	団体名
会長	脇 正人		理事 (団体代表)	永見 政子	大分県民オペラ協会
副会長	中沢とおる			二宮 霊山	大分県三曲協会
	小長 久子			上田 耕作	大分県軽音楽連盟
	脇坂 秀樹			糸永 信義	大分県吹奏楽連盟
監事	首藤 悦爾			後藤 滉壺	淡窓伝光霊流日本詩道会
	麻生 和江			安東 陽	大分県民謡連盟
常任理事	倉田 紘文			宮本 修	大分県合唱連盟
	中野 幸和			藤間 次登	大分県日本舞踊連盟
	辛島 光義			伊坂 香里	大分県民踊連盟
	佐藤 朱音			湯原 恭子	おおいた洋舞連盟
理事 (団体代表)	伊勢 方信	大分県歌人クラブ	清末 典子	大分県民演劇制作協議会	
	猪俣 吞童	大分県番傘川柳連合会	二宮 範明	大分県高等学校文化連盟	
	戸口 勝山	大分県美術協会(書道部会)	(学識経験者)	狭間 久	大分合同新聞社
	河野 公記	大分県美術協会(写真部会)		豊田 寛三	大分大学副学長
	小川 善規	大分県美術協会(日洋彫工部会)		丸山 四郎	大分市教育委員会生涯学習課
土谷 正公	大分県音楽協会	(関連行政機関)	安部 陽子	大分県立芸術会館	

## 事務局

役職名	氏名	団体名	役職名	氏名	団体名
事務局長	安藤 啓士	文化振興課長	事務局職員	田中 将章	文化振興課課長補佐
事務局次長	湖 作夫	文化振興課参事		荻本 悦子	文化振興課主事
	久保木真人	大分県美術協会		池田 リエ	事務局職員

## 平成17年度総会報告

平成17年度の通常総会は、6月23日(木)午後1時30分から県共同庁舎14階大会議室で開催された。総会は団体会員169団体、個人会員150名のうち出席者95名、委任状提出者91名の計186名で成立となった。

第1号議案、第2号議案で平成16年度事業報告、決算報告および監査報告を行った後、平成17年度役員について、団体代表者の変更による団体代表理事の交替が承認された。ついで、第4号議案、第5号議案の平成17年度事業計画・予算案についても原案どおり承認された。

また、大分県芸術文化振興会議の法人化については法人化準備委員会を組織し、検討することが承認された。なお、準備委員会の委員の人選については会長に一任となった。

また、16年度総会以降の理事会で承認された団体会員3団体、個人会員12名の入会及び会員の退会が報告され、平成17年度通常総会後の総会員数は319(団体会員169団体、個人会員150名)となった。

## ●法人化準備委員会

平成17年度通常総会において承認された大分県芸術文化振興会議の法人化については、会長の選任により法人化準備委員会を下記の通り組織し、平成17年8月30日第1回法人化準備委員会を開催した。

### 法人化準備委員会

委員長 脇 正人  
副委員長 辛島 光義（大分県芸術文化振興会議常任理事）  
委員 佐藤 朱音（大分県芸術文化振興会議常任理事）  
渡辺 恭英（大分県美術協会会長）  
久保木真人（大分県芸術文化振興会議事務局次長）  
大津 三郎（NPO法人大分いろは本舗）

第1回準備委員会はNPO法人大分いろは本舗大津氏のナビゲートで法人の種類（財団、社団、NPO）と公益性について、いずれが現在の芸振の活動にふさわしいかなどが話し合われた。

委員からは事業規模と財源規模のバランスをとること、事務局経費の確保、維持といった課題が出され、大津氏からは課題を解決していく前に、公益性を持つためには県民との接点をどのように作り、県民の認知度を高めていけるかを考えて今後の芸振の姿のデザインをしっかりとすることが必要であるとの提案があった。

## お知らせ

### ●助成団体・助成金募集

詳しい募集要項並びに要望書様式を希望される団体はご連絡ください。

#### ○（財）UFJ信託文化財団

財団法人UFJ信託文化財団は永年地域文化の振興に寄与してきた団体、とりわけ地域の音楽・美術・演劇の各分野における活動及び伝統芸能の伝承、保存、後継者育成に努力している諸団体への助成を目的とした事業を行います。

- 助成内容：1 音楽活動に対する助成  
2 美術館等の美術展に対する助成  
3 演劇活動に対する助成  
4 伝統芸能に対する助成

助成要件：平成18年4月1日～19年3月末日までに開催される公演・美術展

募集締切日：平成17年12月末日（消印有効）

連絡先：芸振事務局 TEL 097-536-0522

FAX 097-532-8507

#### ○日本芸術文化振興会

県文化振興課から別途各団体にお送りしています。

提出期限：平成17年11月15日（火）必着

提出先：大分県文化振興課

TEL 097-536-1111 (2058) 担当 田中

### ●地域文化振興懇談会

大分県では文化振興条例の施行、文化振興基本方針の策定に伴い、今年度から3ヶ年県内全域で地域文化振興懇談会を開催します。

懇談会では条例、基本方針の説明をするともに、ミニコンサート講話や文化芸術団体、文化施設関係者、一般県民との意見交換などが行われます。

今年度は下記の日程で開催の予定ですので、各地域の加盟文化団体の皆さんも是非ご参加下さい。

#### 中津市（終了）

10月7日（金）18：30～ 中津市リル・ドリーム

#### 佐伯市

10月30日（日）午後 佐伯市文化会館中ホール

#### 臼杵市

11月下旬 18：00～ サーラ・デ・うすき

#### 日田市

1月22日（日）午後 日田市中央公民館

# 事務局だより

## ● 大分県民芸術文化祭

第7回大分県民芸術文化祭が、民間が主体となって開催する文化祭として、9月25日（日）開幕行事おいたこどもフェスタ「MIKEの<sup>たひ</sup>出発」で幕を開けました。総合プログラムは各団体会員にお送りしています。これから11月末までの期間中、多くの行事が予定されておりますので、どうぞご覧ください。

## ● 住所表記の変更について

市町村合併により住所の表記が変わっている会員の方は事務局までお知らせください。なるべくFAX、メール、郵便など、文書でのお知らせをお願いします。

## ● 会費納入のお願い

17年度会費の納入が済んでいない方は早めに納入してください。振込用紙（郵便局・手数料芸術負担）を紛失された場合は事務局までご連絡ください。

## 新 会 員 紹 介

### ■団体会員

部門	団体名	事務局所在地	代表者氏名	事務局長氏名	団体の目的	会員数	設立年月日	設立後の経過
音楽	琴音会		工藤 冨子	工藤 冨子	日本の伝統芸術の理解と発展の為	30名	昭和34年	大分合同名流選・三曲協会演奏会・都山流尺八演奏会等に参加。琴音会発表会・琴音会おさらい会等開催。琴音会主体の海外演奏会を3カ国で開催。
音楽	社団法人シルバー人材センターカラオケクラブ SANSAN会		北島 俊一	広瀬 則章	本会は会員の親睦、健康、趣味等が明るく楽しく果たされる事を目的とし、会員自身の自主性を尊重した会とする。	26名	平成16年1月6日	毎週1回、公民館等に集合して根気強く練習をし、病院や老人ホーム等での慰問コンサートを行い、地域のイベントにボランティア出演をしている。

### 市町村合併による組織の変更に伴う入会

部門	団体名	事務局所在地	代表者氏名	事務局長氏名	団体の目的	会員数	設立年月日	設立後の経過
地域文化	豊後大野市文化連盟協議会		広瀬 義秋	久土地信吉	文化団体の育成と相互の連絡・調整を図り、もって豊後大野市の文化活動の向上に寄与し、市民文化の振興発展を図ることを目的とする。	7団体 1,903名	平成17年9月20日	合併前 三重町文化協会 大野町文化団体協議会 合併後 旧三重町、清川村、緒方町、朝地町、大野町、千歳村、犬飼町を統合した文化団体を結成。

### ■個人会員

氏 名	住 所	部 門
高橋 紀代	●●●●●●●●●●●●●●●●	川 柳